

春



須崎市長
楠瀬耕作

持続可能なすきづくりに邁進する一年に

市民の皆様、新年明けましておめでとうございます。ご一同様おそろいで健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、何かとご指導、ご鞭撻を賜り御礼申し上げます。市長職をお預かりし、ほぼ二年を迎えることができました。この間、多くの叱咤激励をいただき心より感謝いたしております。

また、昨年末には、一人の職員の不幸事により市役所に対する信頼を損ねることとなり誠に申し訳なく改めてお詫び申し上げます。職員一同で再度、公共の利益のために法令を遵守し公正に職務を遂行するという服務の原点に立ち返り、綱紀粛正を図り信頼回復に努めて参りますので何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、就任三年目を迎える本年も、昨年掲げました「持続可能なすきづくり」に邁進していきたいと決意しております。当市の財務状況は、県下で最悪の公債費率を抱え未だ財政再建の途中です。次の世代に健全財政の状態で引き継ぐためにも、財政規律を守りより一層の効率化、

経費削減により財務体質を強化しつつ、市政の諸課題に対処していく必用があります。これを「持続可能なすきづくり」と表現し、①安全安心の創造②産業の創造③まちづくりの創造の三つの柱を立てています。その中身は、防災対策の加速と高度化、子育て・教育環境の見直し、須崎版産業振興計画策定と実行、観光・コンベンション政策の強化、しんじょう君プロジェクトの推進、須崎未来塾の開催等々であり、併せて、市営住宅・公民館・学校給食・庁内人事評価制度のあり方、小中学校の適正配置等の大きな課題について、それぞれ検討会議を立ち上げ議論を深めていきます。

これらの基礎をなすものは、市民の皆様のご意見であります。どうか昨年にも増してご指導ご鞭撻いただけますようお願いいたします。

本年が皆様にとりまして幸多い年でありますようお願い申し上げます。

平成26年1月

須崎市長 楠瀬耕作